

平成 26 年 11 月 5 日 (水)

## 第 16 回 職業能力開発研究会記録

研究会運営委員会

### 1. 開催日時、場所

- ・日時：平成 26 年 11 月 5 日 (水) 16:15～17:30
- ・場所：職業能力開発総合大学校 1 号館大会議室

### 2. 発表者、参加者数

- ・発表者：寺田 氏 (ポラス株式会社 人事部 人事課長)  
中内 晃次郎 氏 (ポラス株式会社 代表取締役)
- ・講演題目「人的資源を最大活用する能力開発 –これからの技能者のあるべき姿と育成について–」

### 3. 配布資料

- ・講演用パワーポイントのスライドのコピー
- ・ポラスグループ、ポラス建築技術訓練校 パンフレット

### 4. 開会挨拶

遠藤教授から開会の挨拶、本日の講演について紹介があった。

### 5. 講演概要

#### ■ポラスグループの紹介

□1969年設立、住まいに関する事業を行う全22社の事業グループ。

□経営理念は「地域密着の農耕型経営」と「責任一貫施工体制」。住宅供給の全工程をグループ内で手掛け、高品質な住宅を供給している。木材のプレカット工場は生産量全国No.1、生産量の9割を他社に供給。

1987年にポラス建築技術訓練校を設立。継続的な若手大工職人の育成を行っている。訓練は年間1400時間、技能五輪や技能グランプリへの出場も支援している。これまでの修了生は641名、社員大工、設計、現場監督など、様々なキャリアパスがある。

□今後の住宅着工戸数は減少、大工職人は激減の見込み。住宅メーカーとして新しい時代を構築する必要がある。徹底して綺麗にうまく作れる職人、新築やリフォームなど何でも対応できる多能工職人を育成していく。

#### ■ビデオ上映

「ポラテック、住まいづくりへの熱い思い」として、会社の歴史、生産体制、技能者育成などを紹介。

### 6. 質疑応答

基盤 小竹部長：

Q. 技能検定や技能五輪へのモチベーションを上げるために、入賞したら何かの措置があるのか？

A. 技能検定2級は必須。技能検定1級で少し報奨金がある。技能五輪、技能グランプリは金メダルで100万円くらい。幹部を呼んで飲み会の主役になっている。メダルを取ると、出身県の新聞に載ったり母校での講演を依頼されたりするので、誇りと喜びを感じるようである。

建築 和田教授：

Q. リーマンショック後の不況をどのように乗り越えたのか？

A. 都内の倒産した会社は、1戸1億円などの高額商品を売っていた。自社のメインは1棟3千万円台前

半、主な顧客は年収500～600万円くらい。株式に関係なく手堅い人が多いため、都内より落ち込みは少なかった。その頃は良質な土地を適正な価格で買入れることができた。銀行からの信用も高く、無担保で買入れ資金を調達できた。地道な営業努力も続けた結果である。

Q. グループ内の大工職人の年齢推移の予測は、中途採用を見込んでいるのか？ 年齢構成はフラットになるのが望ましいのか？

A. 大工は見習いから始めるので、採用は40歳代が多い。年齢構成はフラットになるのが望ましいが、定着率は4割くらい。独立したり、家庭の事情で会社を離れたりする人もいる。

JR東 越川氏

Q. 工業高校の電気、機械の学生を採用したいとのことだが、住宅に関心がない学生をどのように採用するのか？

A. 工業高校の建築の先生には名が知られているので、ものづくりが好きな人を採用している。電気と建築は無関係ではない。普通科の卒業でも大工になれるし、どの学科を出ても最初は素人である。目標になるような新しい（多能工に対応する）技能認定制度があるとよい。

電子情報 小野寺教授

Q. 多能工について、社内の認定制度はあるか？

A. 技能士、KYT、足場組立の資格はあるが、顧客にほめてもらえるようになることを推奨している。

建築 松留教授

Q. 職業訓練校の卒業生のキャリアパスが大工、多能工、設計など様々なのは、そのように用意した結果か？

A. 人事のアンケート調査、人事異動の結果である。

Q. 多能工職人の育成を目指したインテリアサービス科を再開予定であることに関して、多能工とはどのくらいの範囲を想定しているか？

A. 外装にも対応できるようにしたかったが、助成金の関係で内装のみとなっている。運用で対処の予定。

古川校長より、ご講演に対する御礼とまとめがあった。社員1人あたりの総売上高が1億円とは驚きに値すること、多能工の育成において違った業種を統合するのは困難であることなどのコメントがあった。

7. 次回研究会について

12月に小原先生をお招きし、OJTとOFFJTについてご講演いただく予定。日程は後日。

以上